

オイルバス取扱説明書

このたび弊社製品お買い上げ頂き有り難うございました。
今後とも改良加え、優れた製品を提供したいと思いますので、
より一層お引き立てお願い申し上げます。

運転際して

- ◆必ず接地して使用してください。
- ◆マグネチックスターラーなどで攪拌して使用してください。
- ◆熱媒体液として、水／シリコンを推奨しています。

この取説はOBE、OBW、OBK、OBWK

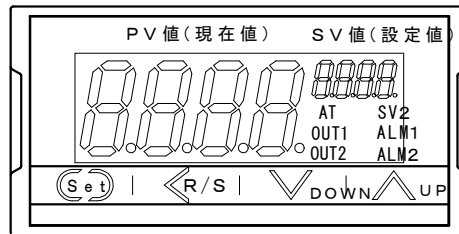
共通のものとなっています。

この製品には保証書は添付されていませんが

製品に貼ってあるシリアルナンバーにて弊社で登録、管理されています。

保証期間は大体の目安として約一年とさせていただきます。

温度コントローラー SA-200

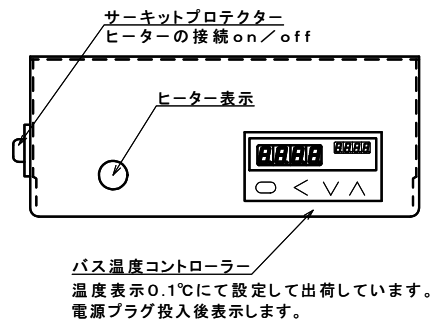


- Ⓢ (短押し)⇒ 温度設定に使用します。
- Ⓢ (長押し)⇒ PIDなどのパラメータ設定に使用します。
- <R/S (短押し)⇒ ~~0000~~ SV値、パラメータ入力の桁移動に使用します。
(やや長押し)STOP表示で運転を停止します。
もう一度(やや長押し)押すとPV表示になり運転再開します。
- ▲ UPキー 押すごとに上位数値へ移動します。
- ▼ DOWNキー 押すごとに下位数値へ移動します。

温度設定(PV/SV表示状態)

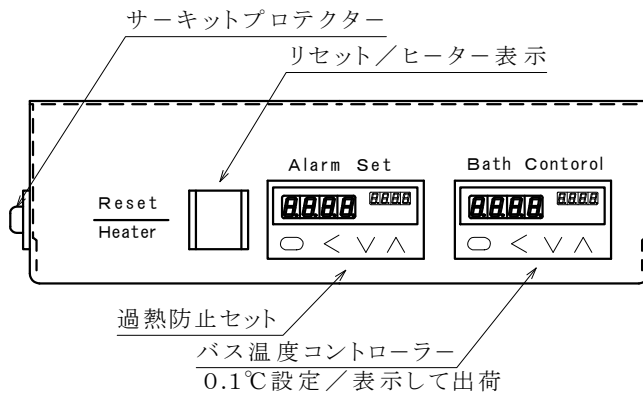
- Ⓢ (短押し)⇒ 表示モードが変わりますSV値の表示が ~~0000~~ のように最小桁が点滅します。
(点滅している桁が入力可能なところです。)
- <R/S を押して目的の桁に移動して、点滅させ ▲ キー ▼ キー を操作して入力して下さい。
- Ⓢ を押します⇒ 温度設定完了

<E型>



安全性を考慮して過熱防止器との併用をお勧めします。
弊社に用意があります。 型式 TC-15H

<EH、WEH型>



スタート方法

電源プラグ投入後過熱防止計器が表示されます。
サーキットプロテクターをONにしてください。
過熱防止の温度設定(バスコントローラーの温度より高めに)後
リセットスイッチ押して下さい。バスコントローラーの計器が、表示されます。
これで、運転準備完了です。リセットスイッチのランプは、ヒーターONの時に
点灯します。 過熱防止が働いた場合、ヒーター回路を遮断します。
同時にバスコントローラーの計器の表示が消えます。
運転終了させたい時は、サーキットプロテクターをOFFにしてください。
長く使用しないときは、電源プラグ抜いて下さい。

過熱防止の計器は、ON、OFFモードにて出荷されてます。
(曖昧な到達温度にしないためです)
このモードはデータロックされています温度設定以外入力できません。
サーキットプロテクター/ 異常時にトリップします。

—— バス温度コントローラーについて ——
最適な温度制御方法として、PIDを自動セットする
オートチューニングモードでの使用を推奨しています。

良好な温度制御を得るためには、最適なPIDのパラメータを設定しなければなりません。
この設定は手動で考えて決めるより、計器のオートチューニングモードを使用した方が
簡単で非常に良い結果がえられます。

<オートチューニングの入力方法>

Ⓢ (長押し) 表示モードが変わります / 最初にATUが表示されます

Ⓢ (短押し) を押す度に表示キャラクターが変わります。

ATU ⇒ STU ⇒ P ⇒ I ⇒ D ⇒ AR ⇒ T ⇒ PB ⇒ DF ⇒ LCK



ATUを表示させます。(循環キーになっています)

△ キーにてOFFからON表示にして⇒ Ⓢ (短押し) キー (短押し) 設定完了

設定されるとATランプが点滅を開始します。on、offを何回か
繰り返しランプ消えます。その時にP、I、Dが自動的にセットされます。

次回使用の時、設定温度のが差が大きいとき再操作して下さい。